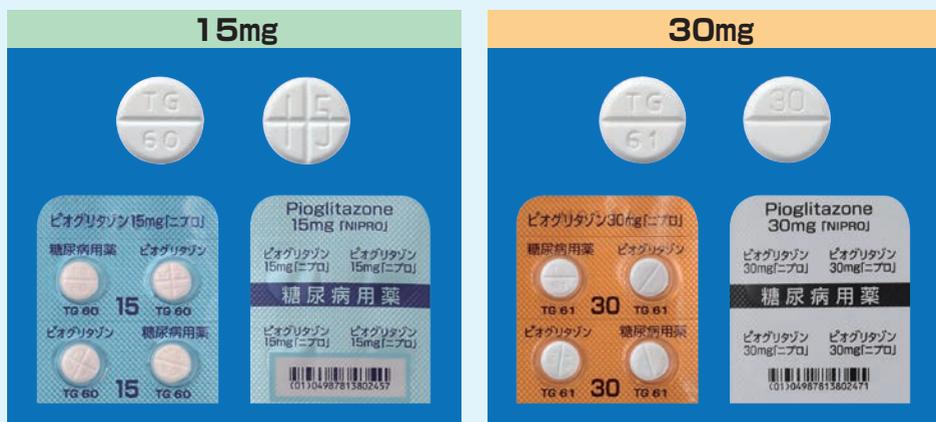


ピオグリタゾン錠「ニプロ」を お飲みになる患者さんへ

ピオグリタゾン錠「ニプロ」は、インスリンが働きにくい状態(インスリン抵抗性)を改善したり、肝臓での糖の産生を抑えて、高血糖を改善します。



飲むときの注意

この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。**指示どおりに飲み続けることが重要です。**

この薬の使い方は？

使用量および回数 飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

〔食事療法、運動療法の場合及び食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤又は α -グルコシダーゼ阻害剤若しくはビグアナイド系薬剤を使用する場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、右のとおりです。

	ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」	ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」
一回量	1～2錠(最大3錠)	半錠～1錠(最大1.5錠)
飲む回数	1日1回朝食前または朝食後	

高齢の人や**むくみ**が比較的多く報告されている女性では、ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」は1錠、ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」は半錠から開始されることがあります。

1日30mgから45mgに増量した後、**むくみ**が多く見られています。45mgに増量された場合、**むくみ**に注意してください。

〔食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用する場合〕

通常、成人の飲む量および回数は、右のとおりです。

	ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」	ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」
一回量	1錠(最大2錠)	半錠(最大1錠)
飲む回数	1日1回朝食前または朝食後	

インスリンとの併用時は**むくみ**が多く報告されているので、ピオグリタゾン錠15mg「ニプロ」は1錠、ピオグリタゾン錠30mg「ニプロ」は半錠から開始されます。1日30mgに増量された場合も**むくみ**に注意してください。

お薬を飲むときに注意すること

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

飲み忘れた場合の対応

昼までに飲み忘れに気づいた場合は、1回分をすぐに飲んでください。ただし、昼すぎに飲み忘れに気づいた場合は、1回とばして次の時間に1回分飲んでください。

決して2回分を一度に飲まないでください。

誤って多く飲んだときには、医師または薬剤師に相談してください。

この薬の使用中に気をつけなければならないことは？

- ◆浮腫(むくみ)や急激な体重増加、心不全症状(息切れ、動悸(どうき)など)があらわれた場合は、使用を中止して医師に伝えてください。
- ◆血尿、頻尿、排尿時の痛みなどがあらわれた場合は、すぐに医師に伝えてください。
- ◆他の糖尿病薬と併用した場合に低血糖症状(お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下など)があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、通常は糖質を含む食品や砂糖をとってください。α-グルコシダーゼ阻害剤(アカルボース、ボグリボース、ミグリトール)を併用している場合は、ブドウ糖をとってください。この薬を使用するにあたっては、患者およびご家族の方は、これらのことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ◆妊婦または妊娠している可能性がある人は、この薬を使用することはできません。また、授乳している人は医師に相談してください。



製品に関するお問い合わせ先

ニプロ株式会社 医薬品情報室

☎0120-226-898 受付時間 9:00~17:15
(土・日・祝日・その他弊社休業日を除く)

患者さん向け資材等の
取り寄せサイト(医療関係者向け)はこちら▶▶
<https://order.nipro.co.jp/items>

